

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	平成28年9月森町教育委員会定例会				
開催日時	平成28年9月27日(火) 13時30分				
会場	森町文化会館 第3研修室				
出席委員	委員長	井口 始			
	委員長職務代理者	岡本孝祥			
	委員	村松加代子			
	委員	鈴木眞子			
	教育長	比奈地敏彦			
出席者	学校教育課 課長	西谷ひろみ	社会教育課 課長	鈴木富士男	
	課長補佐	古川敏勝	課長補佐	北島恵介	
	学校教育係長	小澤貴代美	課長補佐	杉山秀彦	
	庶務係長	岩井秀司	社会教育係長	藤原 崇	
			企画管理係長	栗田 俊助	
傍聴者	なし				

1 開会

委員長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

2 前回会議録の承認

委員長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

3 教育長の報告

委員長	9月に開催及び出席した各種会議等について、教育長からの報告を求める。
教育長	<p>1日・森町職員採用試験(2次試験) (三役面接 15名受験(男子10名女子5名))</p> <p>2日・課長会議 (9月議会対応 地域興し協力隊員紹介 新ふるさと納税等)</p> <p>・土地利用対策委員会 (現地調査と集合会議)</p> <p>・町長と語る会 (天方地区町内会(59人出席))</p> <p>4日・森町総合防災訓練 (午前8時から 招集訓練 災害想定に合わせた指令訓練等)</p> <p>5日・本会議招集 (専決処分の報告承認、人事案件 質疑・採決等)</p> <p>・全員協議会 (天竜浜名湖鉄道経営概要等6件)</p> <p>6日・一般質問打合せ会 (公立幼稚園芝生化 福祉教育の授業実施 小中学校の統合 小中学校にエアコン設置等)</p>

	7日・磐田法人会来庁 8日・校長会	(税に関する絵はがきコンクール参加協力要請) (いじめ撲滅指導 夏季休業中の生徒指導等意見交換 行事確認)
	9日・森町議会本会議(2日目) ・町長と語る会	(条例、補正予算、決算認定等に対する質疑等) (森地区町内会 (75人出席))
	11日・手揉み製茶技術 倉開流の碑建立除幕式	(小国神社にて 招待者31名 神事 記念撮影等)
	13日・常任委員会 ・寺田初任者研指導教諭来庁 ・町長と語る会	(学教は歳入で 社教は歳出で(漢詩撰文料)) (初任者の1学期の様子) (一宮地区町内会 (53人出席))
	14日・県教委事務局訪問 義務教育課長他10名 ・組織見直し打合せ	(事前アンケートを基に意見交換 教育行政 教育大綱 人事 情報等) (組織見直し提案検討)
	15日・森町農業経営者会来庁 16日・管理主事訪問(天方小)	(究極のコシヒカリ提供訪問) (本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と 要望等)
	・総合計画策定委員会 20日・人形浄瑠璃公演関係者来庁 ※ 台風16号接近	(基本構想、基本計画案について) (森小学校にて鑑賞 伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段)
	21日・交通安全インターバル作戦 県民運動期間21日～30日 ・管理主事訪問(旭が丘中)	(ピアゴ前にて 街頭啓発活動 7:00～7:45) (本年度の学校経営、人事異動構想、人事課題と 要望等(主席総括管理主事対応))
	23日・森町議会最終日・一般質問 ※ 課長懇親会	(条例、常任委員会報告、補正予算、決算認定の 採決、承認 一般質問(7人:14質問))
	25日・ファミリーバトミントン大会 ・森町掃除に学ぶ会	(開会式挨拶) (旭が丘中学校会場)
	26日・袋井西小校長来庁 ・学力向上対策委員会	(教研活動予算要望について) (全国学力・学習状況調査分析と広報活動について)
	27日・教育委員会 ・町長と語る会	(9月定例教育委員会) (園田地区町内会)
	28日・森町戦没者追悼式 ・第3回男女共同参画策定委員会	(閉式の言葉) (素案検討 グループ協議等)
	29日・袋井・森地区小学校音楽発表会 ・町長と語る会	(3部に分かれて実施 ～芸術の秋を体感する～) (飯田地区町内会)
	30日・袋井・森地区教組来庁	(教育予算増額に関する要求活動)
委員 長	教育長の報告について、質疑を求める。	
村松 委員	9月25日の森町清掃に学ぶ会は、どのようなものか。	
教 育 長	出席予定だったが、今年はファミリーバトミントンと重複したため欠席した。榊原前議長が中心となり、日頃使うトイレをきれいにする活動で、毎年行われており、学校関係が一巡して今年は旭が丘中学校で実施した。イエローハットの鍵山氏の提唱する事業で、学校を中心とした公共施設での清掃活動を行うもの。	
委員 全員	他に質疑なく承認。	

4 付議する案件

【議 事】

委員 長	議事について事務局に説明を求める。 議第17号について説明を求める。非公開とする。
------	--

学校教育係長	議第17号 平成28年度準要保護の認定について
委員全員	承認。

【報告事項】

委員長	報第25号 県費負担教職員の臨時的任用について説明を求める
庶務係長	<p>報第25号 県費負担教職員の臨時的任用について 臨時講師・臨時職員は、半年任用し、その後もう半年更新ができる。 今回半年更新となるのは、飯田小学校の臨時講師の土屋さんと泉陽中学校の臨時栄養教諭の西田さんの2人で、いずれも10月から平成29年3月末まで任用を更新するもの。 また、育休代替として、宮園小学校の臨時講師の大石さん、天方小学校の臨時養護教諭の木三田さん、泉陽中学校の臨時養護教諭の平岡さんを平成29年3月末まで任用を更新する。 さらに、飯田小学校の臨時養護教諭の澤奥さんは、養護教諭の産前産後特別休暇の願いが12月8日まで提出されたため、臨時養護教諭として12月8日まで任用する。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
委員長	<p>臨時任用教職員の安定的確保と任用については、かねてから課題があり、県教委や町教委の大変な努力がうかがえる。 9月7日に県の教育長への要望事項の提出に向いたが、その中でもこの点について要望されていた。加えて、臨時講師の研修会開催も盛り込まれており、安定的確保には苦慮している。 かつては、講師の登録制度があり、多いときには教師を目指す方で行列となることもあったが、現在はこのようなことはないと思われる。 今回の飯田小の臨時養護教諭についても、皆さんが探し回ってようやく確保できたと聞いているが、もし見つからなかった場合は、一人職である養護教諭が不在のまま学校運営をしなければならないところだった。 子供の前に立つ教員や養護教諭が安定的に確保できるようには、県教委が抜本的な対策をしていただけると良いと思う。例えば、先生は良い職業だというアピールや給与面等の待遇改善により、教職への憧れを抱けるようにするなどの対策をしてほしい。 また、以前は、臨時職員がその後の教員としての貴重な経験となるという意味で正規採用へ登竜門のように考えられていたところがある。直接、正規採用に活かされるような仕組みを作らないと、人が確保できないと思われる。</p>
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第26号 県費負担教職員（非常勤講師）の臨時的任用について説明を求める。
庶務係長	<p>報第26号 県費負担教職員（非常勤講師）の臨時的任用について 特別非常勤講師配置事業の社会人活用として、泉陽中学校に1名配置となった。講師は、鈴木純一さん、45歳、浜松市在住で、技術を担当し、主に情報系の指導をする。 鈴木さんは、平成12年から町の情報教育アドバイザーとして、町内の小中学校を訪問し、教職員に対しての基礎的なパソコン操作方法や授業でのIT活用などの指導をしており、IT関連業務において豊かな経験と高度な知識を有している。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
委員長	報第27号 町費職員の臨時的任用について説明を求める。

庶務係長	<p>報第27号 町費職員の臨時的任用について 県費の臨時的任用と同様に、町費についても4月から半年間の9月30日までの任用となっていたので、引き続き6か月を超えない範囲で平成28年3月30日まで任用期間の更新するもの。</p> <p>幼稚園関係については、天方幼稚園の担任補助の臨時講師1名と、障害児支援の非常勤講師6名について任用を更新する。また、預かり保育の指導員15名と支援員3名、あわせて18名の任用を更新。なお、天方幼稚園の堀尾さんについては、本人の都合により12月までの任用となる。</p> <p>学校給食関係は、臨時調理員3名、非常勤調理員1名、配膳員4名の任用を平成28年10月1日から平成29年3月30日まで更新する。</p> <p>特別支援教育支援員は、飯田小2名、宮園小1名・森小2名について、また、複式学級支援員は天方小・三倉小各1名について、任用を29年3月30日まで更新する。</p> <p>事務局・教育施設については、体育館3名、グラウンド・図書館・文化会館で各1名、学校教育課1名、社会教育課2名、図書館アドバイザーについて、同様に29年3月30日まで更新する。</p> <p>この他、町費では囑託として、幼稚園には講師2人と園長が3人、また、用務員2人、調理員1人、事務局に10人いるが、囑託は1年間の任用となっているので、今回更新の対象にならない。</p>
委員長	以上について質疑を求める。
鈴木委員	堀尾さんが12月までだが、1月から3月は困らないのか。
学校教育課長	曜日を指定してお願いしているため、現在任用している者と調整する。不足する場合は、募集を検討する。
岡本委員	預かり保育の非常勤講師は、全員集まって会合等を行うことはあるか。
学校教育課長	長期休業中は森幼稚園と園田幼稚園の2箇所で行っている。勤務日の調整や保育方法について一同に集まって打合せを行っている。
岡本委員	これだけ人数がいるので、どこでも同じような預かり保育を受けられるように意思の疎通を取る必要がある。
委員長	次年度、園児の数が増えた場合は、予備員のところで調整するのか。
学校教育課長	子供10人に対して指導員1名を配置し、それを超えると支援員を付けている。
委員全員	他に質疑なく承認。
委員長	報第28号 平成28年度町単独事業森町文化会館大ホール天井耐震補強工事入札結果について説明を求める。
企画管理係長	<p>報第28号 平成28年度町単独事業森町文化会館大ホール天井耐震補強工事入札結果について</p> <p>9月16日に入札を行った。予定価格は1,232万9千円、最低制限価格は986万3千円、業者は8業者。落札業者は袋井市の丸明建設株式会社、価格は1,180万円で落札となった。工期は10月7日から12月15日で、大ホールの中は11月1日からとなる。工事の内容は、天井が落下しないように天井裏の919箇所にワイヤーを付けるもの。工事期間中は大ホールが使用できないが、万々に備えて行う。</p>
委員長	以上について質疑を求める。

委員 長	工期中の利用予定はないのか。
企画管理係長	予定なし。
委員 長	新聞等で天井落下事故等を見ることがあるので、対策しておけば安心できる。
委員 全員	他に質疑なく承認。
委員 長	報第29号 平成28年9月森町議会定例会報告について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第29号 平成28年9月森町議会定例会報告について</p> <p>9月議会は、9月5日から23日までの会期15日間で開かれた。初日の人事案件では、井口委員長と岡本委員の任期満了に伴う任命について、全会一致で承認された。10月3日には辞令交付式に御出席願います。</p> <p>補正予算については、前回定例会の後に決まったため、専決ということで報告となる。</p> <p>学校教育課の歳入の教育費補助金△1,896万9千円、学校施設環境改善交付金については、本年4月から国庫補助事業の防災機能強化事業として、森小学校の北棟と南棟の雨漏り対策と外壁の補修工事を実施しているが、国庫補助の採択の見通しが立たなくなったため、その財源を学校教育施設等整備事業債を1,420万円補正し、起債で対応するもの。</p>
社会教育課 北島課長補佐	<p>社会教育課の歳出、文化振興費32万4千円の補正については、ミキホール文化振興会で杭迫先生の書を書いていただくにあたり、町長から森町の意味深いものという指示があり、漢詩を撰文していただくもの。作品については、ミキホール文化振興会の予算108万円で購入するが、そこに書かれる文面である漢詩の制作費用として補正するもの。漢詩の制作については、杭迫先生とともに漢詩の制作をしている京都の桃山学院大学の教授であった林 宏作教授に願います。漢詩は7字28行からなる「望郷篇」というもので、杭迫先生が18歳で京都に出て、60年経つが、自分の故郷は京都ではなく森町である、というような内容となっている。</p>
岡 本 委 員	これは、どこかに展示するのか。
社会教育課 北島課長補佐	「書 杭迫柏樹の世界」展にて展示されて、町へ寄付されることとなっている。
社会教育課長	文化会館に入ったクロークに展示する予定。
委員 長	望郷篇は、杭迫先生が書かれたのか。
社会教育課 北島課長補佐	<p>林先生が、杭迫先生との対談を通して杭迫先生の心を漢詩に撰文した。</p> <p>今回の撰文料は林先生へ支払うもの。</p> <p>森町の賦に続くものとして、この先続けば価値のあるものとなる。</p>
岡 本 委 員	<p>学校の教材にする考えは。</p> <p>中国では英語を勉強しており、日本では漢文を勉強しているという記事を見た。</p> <p>日本は漢字文化を大切に勉強している。</p>
委員 長	そのような趣のある勉強している学校が、山口県や鹿児島県、富山県等にある。続いて、一般質問について説明を求める。
学校教育課長	<p>今回は7人から一般質問があったが、教育委員会に関しては4人から質問があった。</p> <p>伊藤議員から「公立幼稚園の園庭芝生化について」、小沢議員から「中学生対象に福祉教育授業実施について」、鈴木議員から「小・中学校の統合について」、西田議員から「小、中学校にエアコンを」の4点について説明する。</p> <p>近隣市の中には、幼稚園や保育園の園庭の芝生化に取り組んでいるところが見受けら</p>

れ、最近では、新聞をはじめ、多くのマスコミに取り上げられた。

過去には、近隣市の小中学校で校庭の芝生化に取り組んだが、管理が大変で動きが止まっているのが現状。実際に芝生化した後の管理を考えると、森町の場合、現状の職員数では、対応が難しい。また、経費については、芝刈り作業をPTAや地域の協力により行えば費用は掛からないが、肥料代、目土用の砂代、補植用の芝代に加え、芝刈り機の購入費用も別に必要となる。

議員からは、地域と連携した維持管理により、地域全体のコミュニティを育むことも期待できるとの指摘があったが、母親の就労率も上がり、芝刈り等の協力を求めることが難しくなっている。芝生化した園庭を良好な状態で維持していくのは難しく、専門業者、園職員及び保護者のみならず、地域全体の理解と協力が必要となる。

現在、幼稚園での活動を見ると、夏場は水をまき、子どもたちが泥んこになって思い切り遊ぶ姿が見られる。芝生の良さも承知しているが、土と触れることもまた、子どもを成長させる大きな要素であることから、現段階では、幼稚園の園庭の芝生化は考えていない。

最近では、磐田市で維持管理が簡単な芝ができたということも聞いているが、今後それらの情報を収集し、管理等に課題がないか検証した上で、検討したいと回答し、再質問は、なかった。

次の「中学生対象に福祉教育授業実施について」は、これまで、子どもたちに福祉の心を育むため、学校では、人権教育や道徳教育、環境教育あるいは、各教科で福祉を組み合わせた教育が既に行われている、と回答した。

中学校学習指導要領にも、職場体験活動やボランティア活動等について、明記されている。これを受け、森町の中学校では、総合的な学習の時間における体験活動や、特別活動における勤労や奉仕活動等、3年間を見通した福祉教育を展開している。具体的な取り組みとして、学びや体験を通して福祉への理解を深めるとともに、進路選択に役立つ幅広い知識を身につける実践がなされてる。福祉教育は、今後も学習指導要領に則り、体験活動を取り入れながら実施したいと説明した。

小沢議員からは、子供たちから福祉施設には行っていないと聞いたとの再質問があったが、介護職になるための職場体験に特化しているのではなく、いろいろな職業がある中で、いろいろな職場を体験する取り組みであり、福祉については3年間の中で行っているので毎年介護の体験があるわけではないと説明した。

教 育 長

続く、鈴木議員からは、「小・中学校の統合について」質問があり、過去2回の質問があった。議員は、統合を強く進める考えを持っており、2回の答弁の要約を資料のとおり3つにまとめた。「いろいろな問題を理解しなければいけない。」「推計等を見守り、慎重に検討する。」「当時としては、早急な検討はしない。」と回答したが、それ以降、どうなったのかとの質問だった。

平成27年の3月議会において吉筋議員から「教育環境整備と学校統合について」質問があり、この年の1月に発表された文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」の内容に触れながら、教育委員会としての考えを述べた。

市町教育委員会でも手をこまねいているだけでなく、主体的に検討しなければならないという流れの手引きが出て、前向きに考える時期だろうということで、行政の主体的検討の具現化として、保護者等からの声を集めている。教育委員会協議会においても、皆さんからの声や教育委員会事務局の見解等も話をさせていただく中で、方向性を導く必要があるということで、昨年度の総合教育会議でも前町長と話をし、考えるべき時だという意見をもらった。

今年度の総合教育会議では、小規模校だけの統廃合ではなく、園児、児童生徒数の推移や実態、保護者の声、建物の老朽化、諸課題を踏まえて、森町で学ぶ子供たちにとってどんな環境で学ぶことが良いかという広い視点で検討するように、太田町長とも話をし、理解をいただいた。現在、静大の武井教授の調査を依頼しており、本年度中には調査をまとめていただき、仮称ではあるが、「森町の園・学校の在り方検討委員会」を立ち上げ、地域、保護者の声を聞きながら、学校の在り方について考えていきたいという答弁をした。

鈴木議員からは、教育委員会は前向きでは無く消極的であり、すぐに統合すべきだという旨の再質問があったが、統合ありきでは無く、森町の将来に向け学校の在り方について調査したいと回答し、質問はなかった。

<p>学校教育課長</p>	<p>次に、西田議員から、熱中症に対する注意喚起が同報無線でも流れている中、小中学校にはエアコンがないが、授業への集中度や体調管理を考えると、エアコンなしでは済まないのではないかとの質問があった。</p> <p>町では、平成23年度に、幼稚園の保育室と小中学校のすべての普通教室に扇風機を設置し、暑さ対策をした。平成26・27年度には、特別教室にも扇風機を設置するとともに、ミストシャワーも全園・全校に設置して、子どもたちの保育・授業環境を整えるべく、対応してきた。</p> <p>文部科学省が行った冷房設備設置状況調査では、設置率は全国平均で29.9%となっている。東京都が99.9%と、都市部の設置率が高いが、静岡県においては、普通教室では7.0%、特別教室では14.2%と、まだまだ県内の設置率は高くないのが現状となっている。</p> <p>宮園小学校のランチルームについては、旭が丘中学校区給食拠点化の際に、調理を行う宮園小学校の調理場規模拡大のため、ランチルームの4分の1を調理施設に改修したためランチルームが大変狭くなり、その分暑さもこもってしまうため、その対策として過去にも屋根にミストシャワーを設置したり、換気扇を付けたりしたが、期待するほどの効果がなく、今回、急遽冷風機を3台レンタルして対応している。エアコンほど効果はないが、何とかしのいでいる。</p> <p>この状況を見ながら、今後のあり方を検討したいと思っているが、最近の気象状況からも、エアコンの設置については、考えなくてはいけない時代が来たのかなと思うところである。</p> <p>ただ、設置のための費用や電気代等、莫大な費用が掛かるので、近隣の状況等も見ながら検討していきたいと回答した。</p> <p>これに対して、議員から役場の職員はエアコンなしで仕事ができますかとの質問があった。特に宮園小学校の北校舎は、建物の構造上の問題で、北側に廊下が無く、窓を閉めて扇風機のみでの対応だがどう考えるのかとの再質問であったが、北校舎については、風が強い日は掲示物が飛んでしまうので窓を閉めるが、その他の日は窓を開けて扇風機をかけている。校舎の立地条件により状況も変わるので、一概にはなく状況を見ながら検討したいと回答。</p> <p>議員は、近隣がやってからではなく、森町らしさを出すため森町の自慢として先にやるのも方法の一つだと述べたが、町長は森町の自慢がエアコン設置だとは考えず、他に自慢できるものがあるのでは、との回答だった。</p>
<p>委員長</p>	<p>統合については、教育長が幅広い視野に立って学校教育の将来的な姿という観点で説明され、非常に分かりやすかった。</p> <p>学校の在り方は、統合だけではなく、「小中一貫教育」や「地域運営学校」も含めて教育長が答弁してくれたのは、ありがたいこと。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>芝生は良いことだと分かっているけども、運営の仕方を検討し、これを続けるとなれば、どこが主体であるか等、簡単には答えは出ない。</p> <p>統合については、町長と語る会等で、今後学校をどうするのかとの質問が出てきて、関心が出てきた。住民から話しが出てくれば、話し合いの場が広がってくる。先走ってこちらの意見を提示するのではなく、土俵を作るのが教育委員会の仕事だと思う。</p> <p>エアコンを設置するのであれば、学校の児童生徒だけが使うとなると難しいかもしれないが、学校が防災拠点の中心として、太陽光発電を整備して電力を確保し、その余力でエアコンを設置するというのはどうか。エアコン設置したが電気が止まったら使用できないというよりも、このようなシステムを作れば、児童生徒だけでなく、住民も活用できることになる。</p>
<p>村松委員</p>	<p>芝生については、メンテナンスを考えると、現状でも良いと思う。</p> <p>かつて園児が3倍くらいいた頃は、保護者も大勢いて、奉仕作業も早く終わったが、今では、10人程度で広い園庭を草刈りし、更に草刈り機を使用できる人も少なくなった。このような現状を考えると、とても芝生化は考えられない。</p> <p>統合については、先を見守っていくことが良い。</p> <p>エアコンについては、防災拠点を考えると、防災センターは飯田の人数を考えると皆が</p>

	避難できる場所ではない。学校の統廃合を考えた上で、エアコンの設置の検討となると思う。
鈴木委員	自分が中学の時に芝生化され、3年間ほとんどグラウンドに入れなかった。とても大変なことで、現状のままで良い。 統合については、住民が関心を持って考えるようになり、一步前進したと言える。
委員長	議員からの福祉教育に関する質問について、職業教育としての福祉は、小中学校というより、もう少し上級段階で要求されるべきもの。小中では福祉に関心を持つという点では、今の学習で良いと思う。
委員全員	他に質疑なく承認。

【議 事】

教育長	9月30日をもって、井口委員長と岡本委員の任期が満了となり再任されたため、委員長と委員長職務代理者の選任について、予定していた議案に2件追加したい。 議第18号 教育委員会委員長の選任について 委員長の選任については、私が進行してよろしいか。
委員全員	異議なし。
教育長	委員長については、井口委員長に引き続きお願いしたいがいかがか。
委員全員	賛成。引き続きお願いしたい。
教育長	委員全員の同意があったので、引き続き井口委員長にお願いしたい。
委員長	承知した。
教育長	議第19号の委員長職務代理者の選任については、委員長に進行をお願いする。
委員長	議第19号 教育委員会委員長職務代理者の選任について 委員長職務代理者について、推薦する方はいるか。
村松委員	引き続き、岡本委員にお願いしたい。
委員長	岡本委員が推薦されたが、いかがか。
委員全員	賛成。引き続きお願いしたい。
委員長	委員全員の同意があったので、引き続き岡本委員にお願いしたい。
岡本委員	承知した。

5 連絡事項

委員長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	次回10月の定例会は、10月26日(水)午後1時30分から第3研修室で開催する。 「磐田市・袋井市・森町の教育委員懇談会」の資料(案)を配布する。10月4日(火)午後1時30分から磐田市役所で開催されるので、12時30分に出発できるように、教育長室へご参集をお願いする。

一貫教育研究協議会の参観案内を配布するので、出席をお願いする。 照明のLED化工事が完了した。
--

6 閉会

委員長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 14時43分閉会
-----	---------------------------------

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署名人 委員長

委員

委員

委員

教育長

事務局
